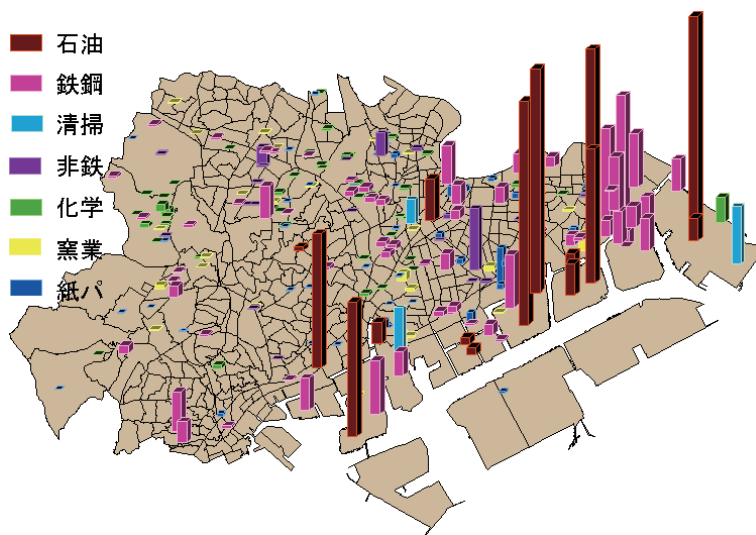


環境技術システムの社会実装に向けた戦略づくりと環境影響評価

研究の概要

低炭素社会や資源循環社会を実現するためには、生産と消費の産業システムそのものをエコロジカルな形態へと作り替えていくことが欠かせません。モノづくりでも都市・地域環境計画でも、こうした視点や姿勢を持ちながら人間活動や産業活動のあらゆる局面で環境配慮を貫くことが求められています。私たちの研究室では、産学あるいは学官連携の共同・共考・共学を通じて、産業セクターや自治体の諸活動にかかわる環境課題を掘り起こし、環境方針や戦略を立案・策定し、その効果をLCAの手法やGISなどを用いて定量的に予測・評価する研究を進めています。扱う対象は資源、製品・技術、建築物、インフラ、産業システムなど様々ですが、例えば以下のような研究に取り組んでいます。



業種別排熱回収可能量の空間分布

- ・工業製品を対象としたエコデザインと循環形成の戦略づくり
- ・産官および産産インフラ連携による排熱等の地域循環システムの構築
- ・人口減少社会および低炭素社会に適した下水処理場、清掃工場の再編と技術選択
- ・施設園芸での設備更新とバイオマス燃料利用による炭素クレジット創出ポテンシャルの評価

研究の特徴

私たちが取り組む研究の着眼は、環境技術そのものの開発というよりも、それが実社会の中でより効果的・効率的に運用されるための社会技術システムを構想することや、社会実装に至るまでの道筋や経路を描くことにあります。それゆえ、新しい技術システムを普及させるための社会制度や、ユーザー（市場）の意向や選択行動、関係主体の役割・費用分担の基本原則といったことも同時に明らかにしながら、研究を進めていくことになります。

実用化が想定される分野

地域環境政策、製品エコデザイン、炭素クレジット取引

研究者からのメッセージ

環境対応の実践現場が抱える課題の解決策を見出していく共同研究テーマを開発・設定できればと思っています。

研究分野：環境計画、環境マネジメント、環境影響評価

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学システム工学部 環境デザイン学領域・准教授・山本祐吾

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp